

一般財団法人 同友会「法人目標」

- 24時間、迅速急性期医療と専門性を持つ医療の充実
- 医療、保健、福祉における包括サービスの提供
- 地域コミュニティ形成を目指す健康増進の推進
- すべての職種に対する医療者としての教育、研修の場の確立

藤沢湘南台病院「病院理念」

- 信頼とやすらぎのある医療
- 専門性と倫理観のある医療
- 地域に貢献する医療



私たちが、「藤沢湘南台病院 脳神経外科スタッフ」です

昨年9月より常勤医師1名を置き診療を行っていましたが、2021年4月より、常勤医師2名体制(他に外来診療のみ非常勤医師1名)となり、入院診療も可能となりました。藤沢市北部、大和市南部、綾瀬市南部の地域に脳神経外科の入院手術加療ができる医療施設がないことが問題点でしたが、これを解消するために当施設は立ち上げられました。

外来診療は、火曜午後、水曜終日、木曜午前、金曜午前となります。予定手術は月曜に行っていますが、緊急手術となる疾患が多く、随時緊急で対応いたします。脳だけではなく脊髄、末梢神経も含んだ神経系すべてに関わる疾患の外科治療を診療対象とします。頭痛、意識がおかしい、手足が動かない・しびれる・痛い、言葉がでにくい、けいれんするなどといった症状が、脳から手足の先までの神経系の異常で起こる可能性があります。脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷、水頭症、顔面けいれんなどの脳疾患、頸部・腰部脊髄管狭窄症、頸椎・腰椎椎間板ヘルニアなどの脊椎脊髄疾患、手根管症候群などの末梢神経疾患など、当科疾患は多岐にわたります。手術といっても、直接頭を開ける手術だけではなく、カテーテルで行う血管内治療も行います。当院だけでは治療が困難な病態に関しては、適宜、横浜市立大学附属病院と連携をとって治療を行います。

今まで緊急を含めた入院対応ができる脳神経外科医がない地域でしたので、遠方まで治療に足を運ばれる方も多かったと思います。このような不安を解消し、地域に密着した医療に貢献できるように努めます。近隣の先生方や救急隊と協力し、信頼と安心のある医療を提供できるよう精進いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

**スカッシュジュニアスクール**  
を開講します!!



Squash 「スカッシュ」というスポーツをご存知ですか?

スカッシュは壁に囲まれたコートの中で、小さいゴムボールをラケットで打ち合うスポーツです。打ったボールは自分が動ける範囲に来るため、**老若男女問わず誰でも楽しめる**ことができます。

ライフメディカルフィットネスでは、以前から開講しているスカッシュスクールに加えて、**2021年8月から新たにジュニアのスクールを開講**することとなりました。

小学1年生から中学3年生までのお子様を対象に、2クラスに分けてスクールを開講いたします。初心者の方から経験者の方までレベルアップができるよう、スカッシュ専門のコーチが丁寧に指導いたします。どなたでも気軽に行えて楽しめるスカッシュを、ぜひこの機会に始めてみませんか?

スカッシュジュニアスクール

土曜 16:00~18:00 / 各回定員6名

- ジュニアA [小1~小3]  
〈時間〉16:00~16:50
- ジュニアB [小4~中3]  
〈時間〉17:00~18:00

料金(税込)	1		2	
	月4回コース	6,160円	月4回コース	7,040円
	月2回コース	3,300円	月2回コース	3,740円

お問い合わせ



健康増進施設 ライフメディカルフィットネス

〒252-0802 神奈川県藤沢市高倉2345  
TEL. 0466-46-3000 FAX. 0466-46-3077  
URL <http://www.life-mf.com>  
■ 金曜日定休



HP



YouTube

プロモーション  
ビデオ公開

# 手足の麻痺、痛み、しびれについて

手足の麻痺、痛み、しびれの原因はさまざまです。原因としては、「脳」、「脊髄（頸椎や腰椎）」、「末梢神経」、「糖尿病などの代謝性疾患」などがあげられます。病歴と神経所見が重要です。



藤沢湘南台病院 脳神経外科担当部長 田中 貴大

## A 脳疾患

脳血管障害（脳梗塞や脳出血）、脳腫瘍では手足の麻痺やしびれは顔面を含むこともあり、左右いずれかの片側に起こることがほとんどです。脳血管障害のように急性発症のものは、救急車での受診をお勧めします。

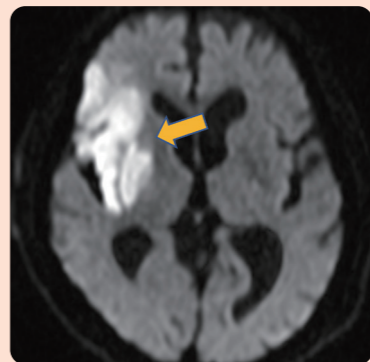


図1 頭部MRI

原因となる心原性脳塞栓症などがあります。

発症から早期に受診された場合は、血栓を薬で溶かす治療やカテーテルで血栓を取り除く治療を行うことができることもあります。症状が改善することがあります。治療は血液をサラサラにする薬で再発を予防します。

### ① 脳梗塞 ▼図1

運動神経や感覚神経の中枢や神経の通り道を栄養する血管が突然つままることで、急性の麻痺、しびれを発症します。動脈硬化が原因となるアテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞や不整脈が

### ② 脳出血 ▼図2

脳梗塞と同じように突然の麻痺、しびれを自覚しますが、脳の栄養血管が急に切れることで生じます。この際には、出血が脳を圧迫するため、頭痛や意識障害を伴うことがあります。出血の場所や量によって異なりますが、最悪の場合には命を落とす危険性もあり、血腫を除去す

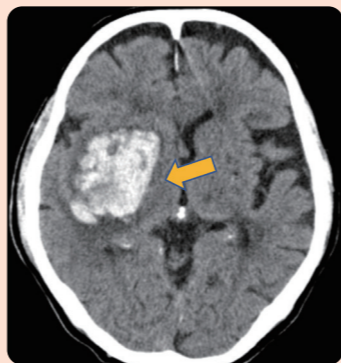


図2 頭部CT

### ③ 脳腫瘍 ▼図3

頭蓋内にできる腫瘍は良性から悪性まで100種類以上もあります。前述の脳血管障害とは異なり、腫瘍は徐々に増大し、正常脳を圧迫するため、麻痺やしびれは徐々に発生します。腫

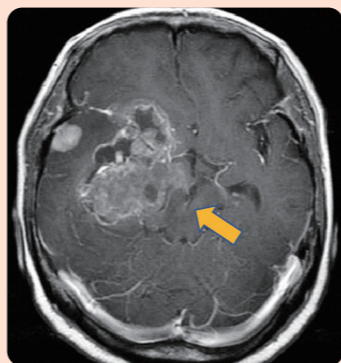


図3 頭部MRI

る手術が必要となることもあり、緊急性が高いです。

## C 末梢神経

背骨から出た神経が何らかの障害を受けることで、慢性的に進行する麻痺や痛み、しびれを生じます。

### ① 手根管症候群 ▼図6

親指から薬指の親指側がしびれたり痛んだりします。急性期は明け方にこの症状が強く、手を振ったりすることで改善します。ひどくなると親指の付け根（母指球）がやせ、細かいものをつかめなくなったりします。これはこの部分を支配する正中神経が手首の手根管で圧迫されるためです。筋力低下があるものでは手術を行います。

### ② 糖尿病など代謝性疾患

糖尿病では動脈硬化により神経細胞への血流不足が起こることとで、複数の末梢神経に機能障害が起こります（多発神経障害）。手足の末梢がしびれたり、不快な感覚を覚えたりするようになります。この分布は手袋靴下型と言われる左右対称の分布となります。そのほかにも、ビタミン欠乏やアルコールなどによっても末梢神経障害は起こり、いずれも手術では治療困難であるため、内科での管理が重要となります。



## B 脊髄疾患

脳と手足を結ぶ神経が背骨の中で何らかの障害を受けることで、徐々に麻痺や痛み、しびれを訴えます。頸椎では両手足の、腰椎では両下肢の症状となります。

### ① 頸椎症 ▼図4

加齢により椎間板や背骨が徐々に変性し頸部で内部の脊髄や神経根を圧迫することで発症



図4 頸椎MRI

### ② 腰部脊柱管狭窄症 ▼図5

腰椎の加齢性変化により内部の神経を圧迫することで生じます。長距離歩けることができなく、歩行と休息を繰り返す間欠性跛行になります。ふとももや膝から下の痛みやしびれがです。症状は両側であったり、片側であったりします。頸部同様、除圧術が必要となる場合があります。

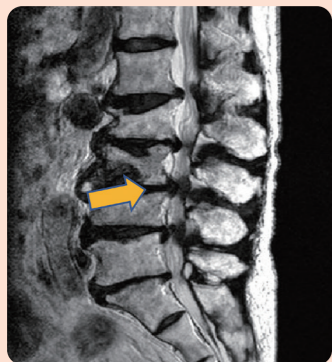


図5 腰椎MRI

### 手根管症候群

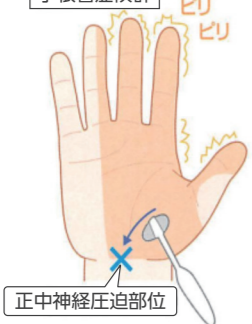


図6 しびれの分布

(病氣が見える vol.7 脳・神経より抜粋)

このほかにも脳神経内科疾患を含む多数の原因があり、診断が難しいこともあるため、困っている方が多い病態だと思われます。気軽に当院脳神経外科までご相談ください。